

「とうほぐすきだっちゃ」

茨木高校2年生（75期生）

中学生の皆さん、こんにちは。

皆さんにとって、一番の思い出の行事は何ですか？ 修学旅行？ 体育祭？ 文化祭？ 新型コロナウイルスの影響で中止になってしまったという人もいるかもしれませんね。

茨木高校では、「自主自律の精神」が徹底していて、行事はすべて生徒が企画・運営します。中でも、2年間かけて取り組む「宿泊野外行事（修学旅行）」は茨木高校ならではの行事です。

茨高の宿泊野外行事は修学旅行と違って、ただ楽しい思い出を作るだけではなく、学びを得るといふ大きな意味を持っています。そして、行き先からプランの内容まで、一から企画し、準備していくのが行事委員会です。私は、そのような行事委員会の魅力にひかれ、委員の一員となり、現在副委員長を務めています。

昨年4月に入学してまもなく、各クラスから希望者が集まり、総勢40名程度の行事委員会が発足しました。私たちのなかには、海外宿泊野外行事を楽しみにして茨高に入学してきた人も多かったはずですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響にともない、行事委員会としては、目的地を国内にして検討を始めました。

まず、国内の魅力も満載との事で、旅行会社3社から行事委員会に対して、東北・関東・九州の3方面のプレゼンテーションを披露していただきました。業者の説明を吟味し、最も行ってみたいと思う行き先別に行事委員40人が3グループに分かれ、今度は私たちが、学年全員に向けてプレゼンテーションを行いました。各グループがプレゼンテーションソフトを用いながら、自分たちの言葉でプランの魅力を伝え、最終的には、投票により東北方面に決定しました。題名の「とうほぐすきだっちゃ」は行事委員会が発行する広報紙のタイトルで、「東北が好きだ」という意味です。

最も難関であるのは、プラン内容の決定です。行きたい場所への移動時間や、道中のトイレ休憩、宿泊先の選定など、思っていた以上に一筋縄ではいきませんでした。さらに今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、団体受け入れが中止になったり、人数制限があったりと容易ではありませんでした。そんな時には、旅行会社の方々に相談にのっていただき、選択プランの間で差が生じないように、細かい内容まで綿密に連絡を取り合い、行事委員会の会議を重ねながら、一つ一つ決定していきました。

11月の実施まで、あと4か月となり、現在は、1日め、2日めのクラス単位で行動するクラス選択プラン、3日めの9つある個人選択プランの希望調査をしています。どれも興味を掻き立てられるようなプランですが、私は特にそば打ち体験ができるプランを選択したいと思っています。「わんこそば」で有名な本場岩手県でそば打ちができることをとても楽しみにしています。

私は、このような行事委員としての活動を通じ、クラスメイトだけでなく、すばらしい仲間と出会うことができ、友情や信頼関係も深まりました。行事委員は仕事が多く、とても忙しいですが、それ以上に大きな満足感と達成感が得られます。自分たちが一から決めたプランが実現する宿泊野外行事。是非、茨高に来て最高の宿泊野外行事を自分たちで作り上げてみませんか？

2021年7月